

作成日: 2014/04/01

改訂日: 2024/04/01 (第4版)

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称	NC エポキシプライマー 主剤
供給者の会社名称	二瀬窯業株式会社
住所	〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部門	本社技術課
電話番号	0948-22-0447
推奨用途	セメント系補修材用プライマー

【2. 危険有害性の要約】

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉塵, ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない	
生殖毒性	分類できない	
特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	分類できない	
特定標的臓器/全身毒性 (反覆ばく露)	分類できない	
誤えん有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分2
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か、分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報	H315 - 皮膚刺激 H319 - 強い眼刺激 H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H401 - 水生生物に毒性 H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き	
予防策	P102 - 子供の手の届かないところに置くこと。 P103 - 使用前にラベルをよく読むこと。 P261 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレアの吸入を避けること。 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。 P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 - 環境への放出を避けること。 P280 - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／聴覚保護具を着用すること。
緊急処置	P321 - 特別な処置が必要である。 P391 - 漏出物を回収すること。 P302+P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。 P304+P340 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P332+P317 - 皮膚刺激が生じた場合：医療処置を受けること。 P337+P317 - 眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。 P362+P364 - 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 P305+P351+P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	P405 - 施錠して保管すること。
廃棄	P501 - 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	2液型アクリル・エポキシ樹脂エマルジョン 主剤

化学物質名	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CASNo.
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 (液状)	10～20	7-1283	25068-38-6
ビスフェノール F 型エポキシ樹脂 (液状)	5～10	7-1285	9003-36-5
アクリル共重合体	15～25	登録済み	未登録
水	50～60	—	7732-18-5

【4. 応急措置】

吸入した場合	蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときには、医師に連絡すること。 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にすること。直ちに医師の手当てを受けること。
--------	---

	呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。直ちに医師の手当てを受けること。 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱ぎ去ること。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診察／手当を受けること。 付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後の洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診察／手当を受ける。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。 多量の水を飲ませて吐かせる。自発的に嘔吐できる場合は、さらに水を与えて吐かせる。ただし無理に吐かせようとしてはならない。被災者に意識がない時には何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。いずれの場合も、直ちに医師の手当てを受ける。

【5. 火災時の措置】

適切な消火剤	初期火災には、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器や乾燥砂を用いる。 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。 水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。 火災発生場所の周辺への関係者以外の立入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸器保護具等を着用し風上から消火作業を行う。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立入りを禁止し、危険区域での火気使用を禁止する。 風下の人を避難させる。 暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。 蒸気の吸入や皮膚絵の接触を防止する。 付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収し、残りは拭き取る。

【7. 取扱いおよび保管上の注意】

取扱い

技術的対策

吸入、目や皮膚への接触を防ぐため、適切な保護具を着用する。
局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所で使用する。
正しい作業実施法を定めて遵守する。

安全取扱注意事項

混合バッチスケールが大きくなるに従って発熱温度も高くなるので、十分注意する。
取り扱う際は、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。

接触回避

強酸、脂肪族アミンと反応するので、十分注意する。

衛生対策

休憩所等には、洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。

保管

安全な保管条件

消防法などの関連法規に準拠して保管する。
日光の直射を避け、湿気、火源のない冷暗所に保管する。
盗難防止のため施錠保管する。
子供の手の届かないところに保管する。
混触禁止物質：強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸との混触を避ける。

安全な容器包装材料

情報なし

【8. ばく露防止及び保護措置】

許容濃度等

管理濃度

設定されていない

許容濃度

情報なし

設備対策

取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、眼の洗浄や身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク

手の保護具

耐油性の保護手袋（不浸透性）

眼、顔面の保護具

保護メガネ（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具

長袖の衣服を着用し、必要に応じ長靴、耐油性の合成樹脂又は、ゴム製の前掛け、腕カバー等の皮膚を直接暴露させないような衣服をつけること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理状態

液体

形状

液体

色

白色

臭い

樹脂臭

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界	下限	データなし
／可燃限界	上限	データなし
引火点		データなし(水系)
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		1.05 (20°C,代表値)
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

【10. 安定性及び反応性】

反応性	通常の条件では危険な反応は起こらない。
化学的安定性	密閉状態で、冷暗所では安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤, 強ルイス酸, 強無機酸, 強無期塩基, 有機塩基 (特に 1, 2 級の脂肪族アミン) と激しく反応する。
避けるべき条件	高温加熱, 混触危険物質との接触
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	アルデヒド, 酸, 有機物
その他	セットの硬化剤 (アミン類) と反応する。

【11. 有害性情報】

	急性毒性			
	経口(LD50)	経皮(LD50)	吸入(蒸気)(LC50)	吸入(粉塵,ミスト)
ビ'スフェノール A 型 [®] キシ樹脂(液状)	区分外 (11400 mg/kg)	区分外 (>1600 mg/kg)	分類できない	分類できない
ビ'スフェノール F 型 [®] キシ樹脂(液状)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
アクリル共重合体	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
水	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし

	皮膚腐食性／刺激性	眼に対する重篤な 損傷性／眼刺激性	呼吸器感受性	皮膚感受性
ビ'スフェノール A 型 [®] キシ樹脂(液状)	区分 2	区分 2B	分類できない	区分 1
ビ'スフェノール F 型 [®] キシ樹脂(液状)	区分 2	区分 2A	分類できない	区分 1
アクリル共重合体	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
水	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし

	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
ビ'スフェノール A 型 [®] 樹脂(液状)	区分外	分類できない	区分外
ビ'スフェノール F 型 [®] 樹脂(液状)	分類できない	分類できない	分類できない
アクリル共重合体	情報なし	情報なし	情報なし
水	情報なし	情報なし	情報なし

	特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	誤えん有害性
ビ'スフェノール A 型 [®] 樹脂(液状)	分類できない	分類できない	分類できない
ビ'スフェノール F 型 [®] 樹脂(液状)	分類できない	分類できない	分類できない
アクリル共重合体	情報なし	情報なし	情報なし
水	情報なし	情報なし	情報なし

【12. 環境影響情報】

	水生環境有害性 短期 (急性)	水生環境有害性 長期 (慢性)
ビ'スフェノール A 型 [®] 樹脂(液状)	区分 1	区分 1
ビ'スフェノール F 型 [®] 樹脂(液状)	区分 2	区分 2
アクリル共重合体	情報なし	情報なし
水	情報なし	情報なし

	生態毒性	残留性・分解性
ビ'スフェノール A 型 [®] 樹脂(液状)	甲殻類 (オジソコ) EC50 (48 時間) 1.7 mg/L	急速分解性がない (BOD による分解度 0%)
ビ'スフェノール F 型 [®] 樹脂(液状)	情報なし	情報なし
アクリル共重合体	情報なし	情報なし
水	情報なし	情報なし

	生物蓄積性	土壌中の 移動性	環境基準	オゾン層への 有害性
ビ'スフェノール A 型 [®] 樹脂(液状)	生物蓄積性が低いもの (BCF \leq 42)	情報なし	情報なし	情報なし
ビ'スフェノール F 型 [®] 樹脂(液状)	生物蓄積性が低いもの	情報なし	情報なし	情報なし
アクリル共重合体	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
水	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染用器及び包装	<p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。</p> <p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。</p>
----------	---

【14. 輸送上の注意】

国連番号	3082
品名	環境有害物質（液体）
国連分類	9 環境有害物質
容器等級	III
環境有害性	海洋汚染物質に該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。
特別な安全対策	<p>取扱い及び保管上の注意の項の一般注意事項に従う。</p> <p>容器に漏れない事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。</p> <p>火気厳禁、天地無用</p>

【15. 適用法令】

消防法	非危険物（水系）
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達） （ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体） ・皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧） 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 （液状のものに限る。）（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）
労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質（令和7年4月1日施行予定分）	
・名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）	4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 （液状のものに限る。）（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）
・名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）	4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 （液状のものに限る。）（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）
労働基準法	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1） （ビスフェノールA型エポキシ樹脂及びビスフェノールF型エポキシ樹脂） ・感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号） （ビスフェノールA型及びF型エポキシ樹脂）

毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	非該当
化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）ビスフェノールA型エポキシ樹脂
海洋汚染防止法	有害液体物質（X類物質）（施行令別表第1）ビスフェノールAエピクロロヒドリン樹脂
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号） 別表第6第23号イ イに掲げる有機溶剤を含む物

【16. その他の情報】

本データシートは、JIS Z 7253:2019 に準じて作成しております。現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。